

社会福祉法人連絡会 通信

発行：西東京市社会福祉法人連絡会 広報啓発活動分科会 事務局：西東京市5-5-12 田無総合福祉センター 1階 TEL 042-497-5061 FAX 042-497-5062

コロナ禍で伝えるもの

令和3年1月に開催したフードドライブは昨年度までのものとは異なる形での開催となりました。

検温、消毒、マスクとフェイスシールドで感染対策をしながら、少人数で仕分け作業を行いました。

コロナ禍の中、手探りでの実施でしたが28事業所の協力により、多くの食材が集まり、配付先へお届けすることが出来ました。



第5回フードドライブで
集まった食材です。



Twitterを開設しました!!

西東京市社会福祉法人連絡会では広報啓発活動の強化のため、Twitterを昨年(令和2年)11月に開設しました。現在はフードドライブの情報を中心に発信をしています。
ぜひフォローをお願いします。

アカウント名：西東京市社会福祉法人連絡会 (@hojinren)



第5回フードドライブを実施

今回で5回目を迎えたフードドライブは28の事業所が参加しました。

年明け早々の2021年1月5日(火)から受付を開始。

1月16日(土)に田無総合福祉センター視聴覚室で仕分け作業を行いました。

配付先

- 子ども食堂 11団体
- 中学校放課後カフェ 1か所
- 学習支援 2団体
- 生活サポート相談窓口
- 子ども家庭支援センター「のどか」
- その他 1団体

集める

コロナ禍でも沢山の食材が集まりました。



新型コロナウイルス対策で検温を実施

ダンボールに入れた食材を各配付先にお届けしました。

集まった食材は配付先ごとにダンボールに分けます。

フードドライブ

分ける



配る



ご協力いただいた社会福祉法人の皆さん、お疲れ様でした。

第5回フードドライブの配付先

子ども食堂ぽっかぽか・子ども食堂しばくぼ〜の

配付先の2つの子ども食堂の代表者の方にインタビューをさせていただきました。

新型コロナウイルス感染症対策のため、今回は対面形式ではなく、アンケート形式で取材を実施しました！

子ども食堂ぽっかぽか 西原みどり様

記者：子ども食堂を始めたきっかけはなんですか？

西原様：市内の北部に子ども食堂がなかったこと、支援の必要な家庭の増えるなか、子どもや親たちに食を通じての支援を行いたいと考えたからです。

記者：普段の活動内容はどんなことをされていますか？

西原様：特別養護老人施設「保谷苑」の中で、栄町地域包括支援センター職員、地域の民生委員を中心に、主にカレーメニューで子ども食堂を1か月に1回開催しています。
また、こどもと親の居場所として定着させると共に、食を通じて家庭を支援していきます。



記者：活動している中で大切にしていることはなんですか？

西原様：本当に支援の必要な家庭とつながっていき、支援をしていくことです。特に子ども家庭支援センターとの連携を大切にしています。表面上はまんべんなく親子を受け入れる中で、本当に支援の必要な家庭を支援することも大切にしていることです。

記者：食材を提供してくれた方へ一言お願いします。

西原様：コロナ禍のもと、カレーを提供する子ども食堂は開催できず非常に残念です。その分、フードパントリーを行い、出産を終えたばかりの母の元に、父子家庭の父のもとへ、子どもたちは、にこにこ誇らしげに、食品の数々を持ち帰っていきました。
皆さまの志に厚く御礼申し上げます。



子ども食堂しばくぼ〜の 綾部さつき様

記者：子ども食堂を始めたきっかけはなんですか？

綾部様：TVとかで子ども食堂や、養護施設を出た後、卒業した子ども達が苦勞しているのを聞き、なにかできればと思っていたところに、西東京市のわいわいネットを知ったことがきっかけです。

記者：普段の活動内容(コロナ禍の中での拠点を使わない活動)はどんなことをされていますか？

綾部様：要望のあった施設へ食材を定期的に届けたり、これまで利用してくださった家庭に声をかけ、食材を届けたりしています。

記者：活動している中で大切にしていることはなんですか？

綾部様：拠点では子ども達が過ごしやすいことや、おいしいと思ってもらえる食事づくり、安全面の配慮をしています。

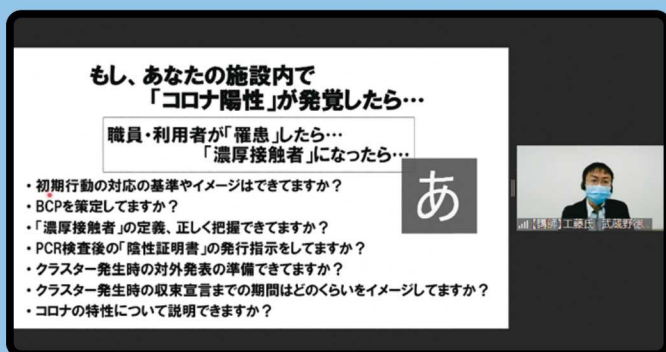
記者：食材を提供してくれた方へ一言お願いします。

綾部様：ありがとうございました。皆さん喜んでいきます。また、よろしくお願いいたします。

社会福祉法人向け

「新型コロナウイルス感染症対策勉強会」を開催しました

令和3年2月17日(水)に「社会福祉法人向け新型コロナウイルス感染症対策勉強会」を開催しました。
当日は武蔵野徳洲会病院感染管理室の感染管理認定看護師の工藤智史氏を講師にお招きして
感染症対策について講義をして頂きました。



各社会福祉法人から計27名がオンラインで参加し、最新の感染症対策について学びました。



編集後記に代えて

広報啓発活動分科会メンバー・各法人の感染症対策



和泉保育園では、発表会や保護者会など室内で密集する行事は、動画配信にて保護者に伝えていきました。保護者の方も自分の都合の良い時間で見られ良かったと好評でした。

(正育会 保谷哲央)

健光園の感染症対策は、直接の面会を中止し、昨年末よりリモート面会を行っています。画面越しではありますが、久々の再会や会話等をご家族と楽しまれている様子です。

(千曲会 梅森祐美)

田無北原保育園では人数制限や動画配信で密を避けて運動会や生活発表会を開催したり、遠足の代わりに園内に巨大迷路や水族館を作ったりと、楽しい思い出ができるよう工夫しました。

(大誠会 海老澤達也)

きたしば保育園では、オンラインを活用しながら、行事や活動を開催してきました。来年度は様々な形で保育園内外に情報等を発信していきたいと思っています。

(聡香会 前田真澄)



発行：西東京市社会福祉法人連絡会 広報啓発活動分科会

事務局：西東京市5-5-12 田無総合福祉センター 1階 TEL 042-497-5061 FAX 042-497-5062